

上小国地区環境公共推進協議会によるビオトープ池補修

令和元年11月22日（金）に、外ヶ浜町上小国地区環境公共推進協議会がビオトープ池の補修活動を行いました。

本地区では、農作業の効率と生産性の向上を図るため、平成20年度から24年度にかけてほ場整備事業を実施しました。

ほ場整備の実施にあたっては、農業者や町内会などが中心となり「上小国地区環境公共推進協議会」が設立されたほか、事業を契機として農事組合法人「上小国ファーム」も設立されました。その後上小国ファームは、外ヶ浜町農業の持続的発展と農村地域の活性化に大きく貢献し、地域経営のモデルとなっています。

また、環境公共の取組として、ため池をビオトープ池として整備し、協議会では毎年子供たちを対象に生きもの観察会を行い、水環境を守る大切さを教えています。

しかし、近年、経年劣化による護岸や橋の損壊がみられ、観察会での危険性、ビオトープ池としての機能が喪失する可能性があったため、中山間ふるさと・水と土保全対策事業による支援を活用して、護岸の補修を行っています。



ビオトープ池の全景

今年度は、計画期間の最終年度である3年目を迎え、過去2ヶ年で補修しきれなかった護岸の補修を行いました。協議会の役員は、事業の支援により早期に護岸が完成したことを大変喜んでいました。



補修の様子 (R1)



補修の様子 (R1)

協議会では、来年度以降も継続して本事業に取り組むこととし新たな3ヶ年計画を策定しました。来年度は木橋4橋の補修のほか、間伐材を活用した転落防止柵の設置を行う予定となっています。

この作業を通して、地域の自然環境を皆で守っていくことの大切さを再認識するとともに、これからの地域のあり方を皆で話し合う機会にもつながっています。



補修前 (H30)



補修後 (R1)

「環境公共」HP

<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>

